

令和4年2月16日第2回通常理事会承認議決

令和4年度

(第11事業年度)

# 事業計画

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

## 「令和4年度事業計画」目次

要旨	1
≪事業活動≫	
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）	2
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営	
（1）コロナウイルスの感染拡大を防ぐための安全対策	
（2）ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導コロナウイルスの感染拡大	
【ソルフェージュ、器楽及び声楽のレッスン】	2
【合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	3
【コーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】	3
【子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】	3
【“ウフ”のレッスン】	3
【“ソルフェージュ&ABC”のレッスン】	3
【リコーダーアンサンブルのレッスン】	3
【春のミュージックキャンプ】	3
【夏季合宿】	3
【楽しくアンサンブル】	4
【大人の音楽の時間】	4
【器楽クラスのアンサンブルレッスン】	4
（3）ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及	
①特別プロジェクト	
【ソルフェージュスクール創立60周年記念演奏会】	4
②通常プロジェクト	
【前期おさらい会】    【後期おさらい会】	5
【研究会】    【試演会】	5
【講師によるコンサート】	5
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	5
③地域プロジェクト	5
（4）ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等「広報」と充実	6,7
2. 音楽ホール、練習室の貸与	7
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、後援会開催	7
≪管理部門≫	
1. 法人としての諸会議	8
2. 公益財団法人の情報公開	8
3. 業務執行体制の強化	8

## 要 旨

昨年度は一昨年度に引き続きコロナ禍の影響を大きく受け、事業は低調にならざるを得なかった。今年度はコロナ禍であっても音楽教育を立て直し、事業を通常通り実施できるよう努力・工夫を重ねていく。

コロナウイルスの感染拡大を防ぐ安全対策を十分に講じた上で、授業はできるだけ対面で続けていけるよう努力する。諸行事に関してもその時の状況に合わせて対象者、楽器、人数などの調整をして安全を確保する。

単に音楽の技術のみを教授するのではなく、豊かな心を持つ人材の育成も教育の核となっている当スクールでは、困難な時期だからこそ音楽が心を温かく、豊にしてくれることを強く伝えると共に、一人一人とていねいに優しくかかわることに努め、信頼を確保したい。

去年できなかった創立60周年記念演奏会を予定しているが、プログラムは密を避け、コロナ蔓延防止対策を考慮して作成し、入場者数もその時の状況で調整する。

コロナ禍は生徒数の減少をもたらした。これからの少子化への対策と共に、生徒数を増やすことに加えて、成人を対象にしたプログラム、多角的な音楽指導方法の開発などの検討をいっそう強めたい。

小規模である当財団の運営は難しいところもあるが、今までの実績、ユニークな教育、公益に寄与していること、新しい指導法の可能性などを考えると、今後も活動を継続できるように一層の努力をするべきだと考える。

昨年に引き続き、財政面においては篤志家の援助もいただきながら、事業の充実を図ると共に経費削減の努力を継続する。

## 《事業活動》

### ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業1）

#### 1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

以下の対策・事業を行いソルフェージュスクールを運営する

##### (1) コロナウイルスの感染拡大を防ぐための安全対策

コロナ禍の収束が予測できないので、下記の感染予防対策を講じて事業を行う。

〈当スクールの対策〉

- ・講師・スタッフはマスク着用
- ・検温と手指洗い、手指消毒の徹底
- ・スクール内設備、室内、共有物の都度消毒
- ・レッスンごとの換気、ピアノ・教具の拭き掃除
- ・レッスン中も生徒と一定の距離をとる
- ・空気清浄機、加湿器の導入

〈生徒へのお願い〉

- ・マスクの着用
- ・スクールに到着時、検温と入口の消毒液で手指の消毒
- ・体調がすぐれない場合は無理をせず休む

##### (2) ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催する。いずれも一般に公開する。なお、これら事業内容の具体的な実施の詳細については、毎月の運営委員会で決定する。

当法人が開発したソルフェージュジェットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせる。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させる。

コロナウイルスに対し最大限の感染予防対策を講じながら、原則として対面レッスンを行う。また、平常時のレッスン受講費は入室案内に公開しているが、指導方法に応じて設定変更を考慮する。

#### 【ソルフェージュ、器楽及び声楽のレッスン】

1 学期	4 月 5 日（火）	～	7 月 22 日（金）
2 学期	9 月 6 日（火）	～	12 月 24 日（土）
3 学期	1 月 12 日（木）	～	3 月 23 日（木）

\*原則として、週1回のレッスンとし、夏季レッスン日各曜日各1回（器楽受講者のみ）を含め、年間合計で41回を予定。

【合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象

\*成人受講生対象で月2回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを行う。

\*原則として月2回とし8月は休み。年間合計で22回を予定。

【コーラス“レ・グルヌイユ”のレッスン】 一般対象

\*成人受講生対象で月1回土曜日に行う。年11回を予定。

【子どものコーラス“レ・テタール”のレッスン】 一般対象

\*小学生から高校生対象で月1回日曜日に行う。年10回を予定。

【“ウフ”のレッスン】 一般対象

\*0歳児から5歳児とその保護者を対象で月1回日曜日に行う音遊び。  
年10回を予定。

対面が基本だが、コロナ禍の状況に応じてオンライン開催とする。

【“ソルフェージュ&ABC”のレッスン】 一般対象

\*小学校1~4年生を対象で月1回日曜日に行うソルフェージュと英語のコラボ。  
年10回を予定。

【リコーダーアンサンブルのレッスン】 一般対象

\*成人受講生対象で原則として月1回。曜日及び時間は参加者が相談して決める。

【春のミュージックキャンプ】 一般対象

4月2日（土）、3（日）2日間 当法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための2日間の講座。受講生の組合せを工夫し、様々なグループで用意された曲を勉強する。

【夏季合宿】 一般対象

8月12日（金）~14日（日） 当法人ホール及び教室

中学生以上を対象として毎年行う合宿。春のミュージックキャンプより一層深く曲に取り組み、演奏発表を目標にして、2人のアンサンブルから全員による合奏まで様々な形の曲を勉強する。コロナ禍のため、外部での宿泊合宿ではなく当スクールへ通う形態とし、小学3年以上を対象とする予定。アンサンブルや合奏を通じて、音楽の勉強に留まらず、相手への思い遣りなどを自然に身に付けられるようなプログラム構成を考える。また、合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートを開く予定である。

【楽しくアンサンブル】 一般対象

夏季 7月18日(月・祝) 当法人ホール及び教室  
冬季 11月23日(水・祝) 同上

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と11月の2回開催する。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく、事前に楽譜を渡して個人練習をした上で、その場でのアンサンブルの体験を積むように指導者が導く。複数回受講経験者の初見及び音楽的な演奏の進歩には顕著なものがある。

【大人の音楽の時間】 一般成人対象

環境が整えば実施したい。

【器楽クラスのアサンブルレッスン】 器楽生徒対象

アンサンブルを大事にするために試みたい。

(3) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

① 特別プロジェクト

【ソルフェージュスクール創立60周年記念演奏会】

6月26日(日) 会場:日本橋公会堂(有料)

原則として5年毎に外部会場でゲスト演奏家等を交えて開催するソルフェージュスクールの周年記念演奏会だが、今回はコロナ禍の影響を受け、創立60周年の2021年度(令和3年度)に実施予定していたものを1年延期しての開催となる。

通常プロジェクトである「ソルフェージュスクール演奏会」と合体させて実施する。この「ソルフェージュスクール演奏会」の本来の位置づけは、ソルフェージュスクールの生徒全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演する外部のホールで催す年1回の定期演奏会であり、来場者がスクールの教育を大観し、ソルフェージュの教育を理解する重要な機会としている。年1回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの生徒が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにかに活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するというプロセスを学ぶ。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションもあり、これらを一般公開してソルフェージュスクールの教育のあり方を提示することを目的とした演奏会である。

今回の周年記念演奏会は、「ソルフェージュスクール演奏会」の本来の要素を一部入れながら、創立60周年に相応しいプログラム構成とする。

当スクールのOBであるチェリスト・林俊昭氏をゲストとして迎え、同じくOBである林徹也氏の指導する室内合奏団との共演をメインプログラムに予定する。他に「ソルフェージュスクール演奏会」の特色である生徒参加によるプログラムを加えて、一般に披露する予定である。

② 通常プロジェクト

【前期おさらい会 10月23日(日)当法人ホール】

【後期おさらい会 令和5年3月21日(火・祝)当法人ホール】

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらう。

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年1回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、保護者、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会である。

【研究会 9月と2月に開催予定 当法人ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々テーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会であり、年2回開く。一般に公開。

【試演会 日程未定 当法人ホール】

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会とする。講師が自発的に企画し実施する。原則として非公開で行う。

【講師によるコンサート】

＜春のコンサート 4月29日(金・祝) 当法人ホール(有料)＞

＜クリスマスコンサート 12月18日(日) 当法人ホール(有料)＞

春と12月に開く講師及びゲスト演奏家を交えての演奏会。

「音楽はソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得る」というソルフェージュスクールの目標のひとつを、ソルフェージュスクールの講師が自らの演奏によって、より多くの方へ伝えるためのコンサートである。

【海外の専門家(ソルフェージュ研究者等)との国際交流】 一般対象 (原則として有料)

ソルフェージュスクールで学び、アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き特別講習会を開きたいが、コロナ禍の状況次第となる。

③ 地域プロジェクト

児童及び高齢者を対象とした地域プロジェクトへ協力(講師派遣等)する。

豊島区のNPO法人富士見台ひろば主催のクリスマスコンサート等への協力を予定する。

(4) ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版を行う。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載する。ホームページの内容充実と更新を継続し、タイムリーな情報発信を facebook 等で行う。

① facebook 等の SNS の活用

ホームページとは別に、facebook に Instagram と Twitter を加えて SNS を連携させて情報発信を強化することにより、タイムリーで詳細なソルフェージュスクールの事業内容を広報することができるようにする。

② ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜等の購入

③ 「ソルフェージュスクール News Letter」の発行

年 5 回 当スクールの行事の報告及び予告等スクールの活動をタイムリーに広報し、またその時々音楽のコラムなども掲載する。  
一般に無料配布

④ 独自に発行したソルフェージュ指導楽譜を教材として使用し、一般に実費配布

シャセバン 1 ￥560－（税込）  
シャセバン 2 ￥612－（税込）  
シャセバン 3 ￥440－（税込）

⑤ 新しい指導教材の開発・研究

他分野の研究グループ等と連携して、ソルフェージュット新版等の指導教材の改良・作成等の検討を継続する。  
また、あらゆる世代に面白いと興味を持ってもらえる音楽アプリを開発する。

⑥ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書類の整理を昨年度に引き続き行う。  
できるだけ早急に公開できるように、web 掲載、分冊発行等を検討する。

⑦ ホームページの充実

広報力の強いホームページとする。更新間隔の短縮に努め、迅速な情報伝達を強化する。音楽を心の糧にし、音楽で豊かな心を育むことで人間性を高め、日本の音楽文化を進化させていけることを強く訴える。内容を濃くすると共にわかりやすく



アピール力のある表現となるよう工夫を重ねる。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開する。

### ⑧ 他のデータシステムとの連携

文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図る。

## 2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与する。とくに、音楽学校受験生の使用費用は一般の2割引きとして活用を促す。

\* 随時受付、費用は別途料金表に公開している。

## 3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（無料/有料）

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月1回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月1回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらう。

【講習会・講演会】

演奏技術のみならず演奏家の逸話、音楽史等々広範囲な内容とする。

海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流の場として開催予定の特別講習会はこの一般向け講習会を兼ねる場合もある。

## 《管理部門》

### 1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催する。

定時評議員会は令和4年6月に1回、通常理事会は令和4年5月及び令和5年2月の2回、それぞれ開催予定である。また、必要に応じ臨時役員会を開催する。

コロナ禍の影響を受ける場合はオンライン会議による開催も考慮する。

### 2. 公益財団法人の情報公開

現在公開中のものに加え、令和3年度事業報告書及び計算書類等、令和4年度事業計画書及び収支予算書等をwebサイトで情報公開する。

また、年5回発行予定の「ソルフェージュスクール News Letter」で当スクールの活動状況を公開する。

### 3. 業務執行体制の強化

6月の定時評議員会において任期2年満期の理事の選任を行い、業務執行体制を強化して、一昨年度、昨年度と続いているコロナ禍で低調な運営状況の回復に全力を注ぐ。

また、コンプライアンスの強化に努める。